

ブドウの栽培方法

剪定方法 Pruning

剪定は長梢剪定と短梢剪定があり、仕立て方法に合わせて行います。

仕立て方法 Trainingsystem

蔓性植物の葡萄は光を求めて太陽に向かって上に成長する性質があります。世界中の多くの地域ではワイヤーや杭くいを使って、果実に十分な日光を与えるよう工夫しています。世界で最も多く見られるのが垣根仕立て（英 VSP: ヴァーティカル・シュート・ポジション/仏: グイヨ（ギョー））と呼ばれるものです。19世紀にフランスの植物学者ジュール・グイヨ博士の研究により世界中に普及しました。

垣根仕立て（ギョー・サンプル）

長梢1本と2芽の単梢の仕立て方法。世界各地で採用されている。ボルドー、ブルゴーニュ、ドイツ、イタリア等。

Goyo Simple



棒仕立て（モーゼル）

左右から2本の長梢をとり、主幹に添えた棒を中心にハート型になるようしばります。急斜面のドイツモーゼルで採用。

Mosel



急斜面

主な仕立て方法



Overhead Trellis



Cordon

棚仕立て

日本の生食用の葡萄栽培を中心に広く採用。長梢剪定X字型が普及していましたが、近年では剪定、収穫などの栽培管理のしやすく密植可能な一文字単梢仕立てによる栽培が増えています。

垣根仕立（コルドン）

主幹から左右に枝を分け、それに2芽の短梢を等間隔に取っていく仕立て方法。シンプルな剪定と機会化へ適用性から新世界に広まっています。